

けゆき

たすき



# 櫛の櫛

「学校教育目標」  
 絆を深め、地域社会に  
 貢献できる生徒の育成  
自ら学ぶ 思いやる  
体を鍛える

文責 竹田 圭志

## 授業公開・授業参観・学級懇談会

4月23日(金)、午前中は授業公開、午後は授業参観と学級懇談会を実施しました。

ご多用にもかかわらず、大勢の保護者の皆様にお越しいただき、心より感謝申し上げます。

コロナ禍でもあり、昨年度は、保護者の皆様に学校にお招きする行事が全く実施できませんでした。人数制限や時間制限という制約がありましたが、実際に生徒の様子をご覧いただく機会が、このような形で実施できたことを嬉しく思います。

授業参観では、担任の授業を参観して担任教師の人柄に触れていただき、また、保護者会では、学年の指導方針、学年費の用途などをご理解いただけたのではないかと思います。

午後の保護者会に先立って、体育館で全体会を行いました。その中で私から保護者の皆様をお願いとして2点お話ししました。

1点目は、教職員の減少に伴い、本校の教員は非常に多くの仕事を掛け持ちせざるを得ない状況にある点をご理解いただきたいというお願いです。負担が大きい中、本校教員は責任を持って部活動指導に取り組んでいます。部活動の時間は職員室が空になってしまうほどです。時折、私の耳にも「土日の練習などは、もっとやってほしい」という保護者の皆様からの声が届くこともありますが、教員もかなり無理をしての対応となっているあたりをご理解いただきたいとお伝えしました。

2点目は、子供たちの前で、他の生徒や保護者、教職員に対する批判的な話をしないでほしいというお願いです。中学生は過去に起きた周囲との些細な出来事を、喉に刺さった小骨のように感じながら生活してるケースが少なくありません。保護者の皆様も同様のケースがおありではないでしょうか。つつい子供たちの前で、あの時あの人からあんなこと言われた、こんなことされたらと愚痴がこぼれることも……。どこの家庭でもありがちなことですが、過去を乗り越えて踏み出していこうとする子供たちに良い影響はありません。子供たちのためにも気持ちをリセットしていただき、決して子供たちの前で他人を批判することがないようにしていただきたいをお願いしました。



1年生「道徳」の授業参観の様子。自分の考えを深められたかな？



2年生「英語」これからのグローバル社会では必須のスキルです。



まだまだ先？ もう目の前？ 3年生は、進路決定までの見通しを確認しました。

## 新入生の部活動がスタート

仮入部期間を終え4月30日(金)から1年生も部活動への正式な入部となりました。

今は、コロナ禍で活動時間や他校との交流が制限され、思うような活動ができないことも多いと思いますが、目標を持って頑張っていってほしいです。

現時点(4/30)での部員数	1年		2年		3年		全校	
	男	女	男	女	男	女	男	女
バスケットボール	1	—	8	—	1	—	10	—
バレーボール	—	3	—	5	—	10	—	18
男子ソフトテニス	9	—	2	—	10	—	21	—
女子ソフトテニス	—	8	—	3	—	4	—	15
吹奏楽	3	6	0	1	1	3	4	10
総合文化部	—	—	0	2	0	3	0	5

# 第1回学校運営協議会

4月27日(火)、ご多用の中、4名の委員の皆様にご参会いただき、第1回学校運営協議会を実施しました。ご参会いただきました委員の皆様には、深く御礼申し上げます。今年度は、委員任期2年(令和2・3年度)の2年目となります。昨年度委員としてお世話になった委員1名が、仕事の都合で退任され、後任としてみどりが丘地区自治会長さんに残りの任期(1年)を引き継いでいただくことになりました。運営協議会では、まず、授業の様子を参観していただき感想やご意見をいただきました。その後、校長から今年度の学校経営方針をお伝えして承諾をいただきました。また、本校の課題等について意見交換しました。特に、中間テストを実施しない理由について触れていますので、保護者の皆様もお読みいただきご理解ください。

## 1 授業を参観しての感想等

- 昨年度末に欠席がちの生徒たちも、今日は授業に参加できていた。
- 授業に真剣に取り組んでいた。グラウンドでの授業では元気に取り組んでいた。
- 換気等、感染予防対策がしっかりされていた。

## 2 本校の学校経営方針の説明(承認をいただきました)

- 学校教育目標 ○目指す学校像 ○目指す生徒像 ○その他

## 3 本校の現状と課題

- 教職員数減・教職員の負担増
- 誰もが通いたい学校づくり
- 新しい生活様式
  - ①コロナ対応(修学旅行実施、今後の行事も縮小化して実施)
  - ②中間テストを今年度も継続して実施しない判断



今回も皆さん機軸中をより良くしようと意見を出してくださいました。

昨年度は、コロナ禍で授業時間数確保のために中間テストを実施しなかったが、今年度も引き続き実施しない方針。定期テストに対して、直前だけの「詰め込み勉強」で対応している生徒が非常に多い。日々の学習習慣を定着させるため、小テスト(各単元終了後等のタイミングで確認テスト)を実施することで子供たちの学力向上につながると判断した。すべての学年が単級であることを最大限に利用していきたい。

## 4 質疑・意見交換

- コロナ禍で大学生が学校に行けない状況にある。中には将来教員になりたいという大学生もいて、ボランティアで中学校の支援をしたいという話もある。教職員の負担軽減の意味からも、ボランティアとして大学生や地域住民の力を活用してもよいのではないかと。

【教頭】前任校も含め、比企地区内の中学校でも実際に取り組んでいる学校もある。

【校長】町教委とも相談しながら、前向きに検討していきたい。

- 中間テストを実施しない理由は理解できた。子供たちは中間テストがなくても小テストに向けてよく頑張り学力向上につながっていると思う。ただ、成績の付け方に不安を持つ保護者もいる。小テストがどのように成績に反映されていくかの明確な説明をしてほしい。

【校長】各教科で成績の付け方については担当教員から生徒に対し説明がされているが、学校として保護者宛に説明の文書を配布したい(5月中旬までに配布)。

- 令和7年に学校が統合というが、本当にできるのか。そのために今具体的に何か本校で取り組んでいることがあるのか。

【校長】今のところ町から指示されてという具体的な取組はない。私個人の考えだが、まずは、小規模校同士、西中と連携した取組を少しずつ実現できたらと思っている。

- 以前来校したときより、挨拶してくれる生徒が増えたように感じる。以前の年間行事計画には、定期テスト前に「挨拶運動」が明記されていた。もっと挨拶ができる学校にするために、そのような計画をしてもよいのではないかと。

【校長】生徒は素直で真面目であり、指示されたことは素直によくやる。一方で、主体的に取り組むことがやや苦手である。時期や方法も含め教職員からの指示ではなく、子供たちの主体的な発想と奉仕的な自治活動で成功体験を味わわせたい。